

リノベしてステキに暮らす!
いくのdeリノベ

二人三脚で作る“キンパ”は
いつもほんわりあたたか

疎開道路沿いにあるキンパ専門店「Ella Gimbap」。
白壁とレンガの可愛い外観が、コリアタウンから鶴
橋駅へと向かう人の足を止める。

1年前にここにお店を開いたのは、大長さん親子。
厨房ではいい匂いが漂い、卵焼き、たくあん、豚キムチ、
ソーセージ、ヤンニョムチキンなどの具材がずらりと並
んでいる。注文が入ってから、のりを広げ、そこに温か
いご飯と具材を乗せると巻き、包丁で輪切りにし
てパックに入れる。このスタイルは「お客さんには少し
待たせてしまうけど、一番おいしいできたてを食べて
ほしい」との二人のこだわりからだ。すぐに食べられる



▲明るい笑顔で接客する大長 愛さん。
店名の“Ella”は、幼少期に一時韓国で暮らしてい
た頃の愛さんの呼び名なのだそう。

形のテイクアウトもできる。手渡されたキンパはほん
のりあたたかく、ほおばった口に優しい味が広がる。

母の智炎さんが、韓国の友人からキンパの作り方を
教わったのはずいぶん前のこと。それ以来、子どもたち
の遠足や運動会など特別な日に作ってきた。家庭で愛
された味が、そのまま店の味になっている。

もともとは、キムチ屋さんだったというこの場所。
キッチンとカウンターを新たに取り付け、壁紙や床は
すべて張り替えた。シンプルな内装の中に、壁にかけ
られたいくつもの大きな絵が目を引く。智炎さんが大
切な友人から譲り受けたというこれらは、絵専門のク
リーニングで鮮やかに甦ったのだそう。お客さんから
の「おいしい」が励みだという二人は、その絵に見守ら
れながら今日もできたてのキンパを提供する。



▲注文が入ると、あっとい
う間にできあがっていく
キンパ。二人の呼吸は
ぴったりだ。

一番人気の「Ellaキンパ」!
他にもチャンジャ、明太キムチ、
豚キムチ、ツナマヨなどがある。



韓国の
“のり巻き”キンパ!



★Ella Gimbap
(桃谷3-1-18) ☎06-6777-9188

ブログでは写真を追加して
紹介しています。



生野区在住で、古い家屋をリノベーションし、自
分らしい暮らしをしている方を紹介してください。

連絡先 区企画総務課 ☎06-6715-9683
〒544-8501 生野区勝山南3-1-19

★空き家の相談はこちら
区地域まちづくり課 4階44番 ☎06-6715-9734

もっと知れば
もっと好き

60か国以上の方が暮らすまち



Rahayu Setiarsi さん
(ラハユー セティアシ)

インドネシア出身。7人きょうだいの5番目。
20年前に結婚を機に来日。区内の服飾
雑貨店で働く。

お母さんの料理

ジャワ島のスマランという町から来ました。お母さんとは毎日携帯で何
度もやりとりするぐらい仲が良く、毎年、ふるさとに帰ってお母さんと
過ごすのがとても楽しみでした。今はもういないけど、お母さんが作っ
てくれたご飯が懐かしいです。一番好きなのは、空心菜と鶏肉を炒めた
カンクン・チャ。デザートは、もち米とアズキをヤシの葉でくるんで蒸し
たバンダル。どちらも日本のみなさんにおすすめです!

お祈り

インドネシア人のほとんどがイスラム教徒で1日5回のお祈りをします。
私も毎日かかさずしています。仕事でもお店でお祈りするんですが、常連
のお客さんは「ああ、お祈りか」と待ってくれるんです。初めてのお客さん
はびっくりさせちゃいますが。

韓国料理が好き!

私、韓国料理が好きなんです。キムチを
買ってきて、ゴーヤと和えたり、ピビンパ
を作ったり。カップラーメンも韓国の辛
いのが好きです。インドネシアも辛い
料理が多いからかな。コリアタウンが近
くでよかったです!

(スラマツシアン)
Selamat siang
こんにちは!



▲インドネシアから輸入
している雑貨の一部

IKUNO x グローバルは生野区ブログでも発信しています。

生野区 チームいくみんな通信 検索



ものづくり企業は地域の誇り

ピックアップ 生野ものづくり百景

株式会社
アックスヤマザキ

ミシンをもっと気軽に簡単に!

株式会社アックスヤマザキは、昭和21
年創業の家庭用ミシンを製造する専門
メーカーだ。需要が減り続けるミシン業界
で、家業を引き継いだ兄弟がたどり着いた
のは、もっと身近なミシン。「難しそう」「場
所をとる」など、ミシンに抱く概念を取っ払った商品を作り出した。

『毛糸ミシンふわもこHug』は、子どもでも楽しく安全に使えるおも
ちゃミシン。『子育てにちょうどいいミシン』は、忙しい子育ての合間に、
パッと出せてサッと作れるようにと、機能はシンプルだ。時代に合ったこれ
らのミシンは、コロナ禍で多くのメディアに取り上げられ注文が殺到した。

素人の感覚を大事に、家での何気ない会話、お客さんとの雑談、
他業界の人の意見などから、新商品のヒントを見出すのだそう。これ
からも、ミシンで手作りの楽しさを広げていきたいと、二人の意
気込みは十分だ。



▲(左)兄の代表取締役 山崎 一史さん
(右)弟の取締役 山崎 寛之さん



『毛糸ミシン
ふわもこHug』



『子育てにちょうどいいミシン』
本棚に入るほどコンパクトでスタイリッシュ
なデザイン。スマホを見ながら操作や作り
方を確認できる。
デザイン性と機能が評価され、「グッドデザ
イン金賞」、「JIDAデザインミュージアムセレ
クション」など、たくさんの賞に輝いています!

株式会社アックスヤマザキ
(舎利寺3-12-5)
☎06-6717-5851

“きらりと光る”ものづくり企業を
たくさん紹介しています。

生野区 ものづくり百景 検索

